

# 足尾山塊 袈裟丸山 山行報告

## 【ルート】



【登山方法】雪山登山

【日 程】2020年3月20日(金)～21日(土)

【行 程】20日(金) 沢入クリーンセンター 8:55～二子山 13:00～小丸山 14:53～避難小屋 15:05(泊)

21日(土) 避難小屋 6:00～前袈裟丸山頂上 7:00～7:40 避難小屋 8:15～小丸山 8:30  
～賽の河原 9:30～塔ノ沢登山口～13:50 沢入クリーンセンター

【参加者】CL 柘植、記録：澤田(淳)

## 【内 容】

柘植さんより3連休の南会津バリエーションルートのお誘いがあり、久しぶりのYさんと3人での山行を楽しみにしていたが、Yさん急遽不都合による不参加と会津方面の天気予報が悪いため、残念ながら2人で比較的天気の良い関東にしようということになる。袈裟丸山は、5～6月のアカヤシオ、シロヤシオが見事なことが有名で、満開の時に楽しませてもらった山であるが、今回は沢入トンネル出口のクリーンセンターに駐車し、ほぼ県境尾根を上がり、袈裟丸連峰を縦走して小法師尾根を下山して、沢入トンネルに戻るといふ壮大な縦走計画となった。

20日(金) 4:30に我が家を出発。8:55クリーンセンターから出発しようとする、センターのおじさんから鹿の罾があるから気を付けるよう言われるが、どれなのかよくわからないまま気を付けて急登を上がる。一般道ではないので、誰にも会わず、ひたすら雪のない尾根を修行のように4時間登り続けて頂上とはわかりにくい地味な二子山に到着。さらに1時間程行くと袈裟丸山への一般道との分岐にぶつかり、気持ちの良い平坦な雪の尾根となる。ここからわかんをつけて小丸山へ。このあたりから小雪が舞ってくるので、写真だけ撮ってどんどん行くと白樺の広場にかまぼこ型の3人くらいで泊まれる避難小屋に到着。2人とももうクタクタなので、テントはやめてここを今日の宿とさせてもらう。貸切りで快適である。さっさと雪を溶かし、簡単な夕飯をすませて18時にはシュラフに潜り込む。風の音が大きいわりに気温はすっかり春陽気で、トイレに立つと星と桐生あたりの夜景が美しい。寝るより楽はなかりけり。



尾根末端の急登を頑張る



前方に二子山が見えてくる



昨年末に登った人の記録が巻き付けてあった



二子山からは前方に袈裟丸山が見えてくる



小丸山の山頂



見かけは汚いが中はきれいな避難小屋 (泊)

21日(出) 4:20 起床。袈裟丸連峰を縦走して今日中に小法師尾根を下降はかなり厳しいので一般コースを沢入に下山することにする。であればパッキングも簡単なのでゆっくり準備し、軽アイゼンを着けて6時スタート。前袈裟丸山の山頂には7時に到着するが、ここも貸切りで風はあるが眺めよし。上信越の山々からまだ真っ白の北アルプスまで見える。避難小屋に戻り、再び重荷を背負って出発。昨日の二子山からの合流点を知らないうちに通り過ぎ、気がつくとき賽の河原に着いていた。賽の河原は、弘法大師が赤鬼青鬼を退治して子供たちの霊をなぐさめてくださった場所とのことで、あちこち石が積んでありケルンだらけである。



赤城山



北アルプスと上信越国境の山々



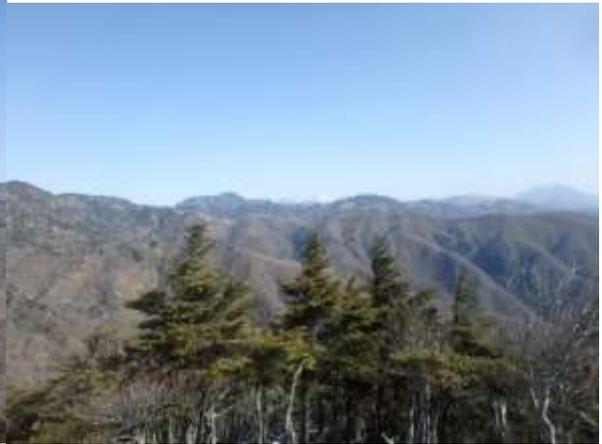
前袈裟丸山の山頂\_\_澤田淳



前袈裟丸山の山頂\_\_柘植



袈裟丸連峰



皇海山

男体山



賽の河原



塔ノ沢コース分岐



寝 釈 迦 像

沢伝いの塔ノ沢コースを下ると御影石に掘られた大きなお釈迦様が北向きに右を下にして寝ていらっしやる。これは頭寒足熱となり体に良いねむり方だそう。塔ノ沢登山口につくと綺麗なトイレもある。もう到着だといいいけど、車の置いてある沢入トンネル出口までまだ林道1時間＋一般道&長いトンネル歩き1時間半が待っている。林道1時間を降りきったあとの一般道がずっと登りの日差しの強いアスファルトで、最後の修行になるとは思いもよらず、私は途中で水も全部飲んでしまい、こんな山の中で自販機やお店もなく喉がカラカラ。しかし弘法大師の情けのおかげか急に奇跡のように石の公園という訳の分からない公園が出現し、噴水と水飲み場だけがあったのである。その時いただいたお水の冷たくておいしかったこと！しかし車以外通りそうもない道端、誰が行くのか石の公園。あそこで水を飲んだのは、日本中で私一人ではないだろうか？コロナウイルスのおかげで、3月1日から学童保育10時間勤務の私へのごほうびかも？本当に2人ともヨレヨレで沢入トンネル出口へ到着。修行のような2日間は終わった。

国民宿舎サンレイク草木で入浴後、地粉手打ちうどん食べたさに道の駅くろほねやまびこへ。3時半閉店の張り紙をつけているところへぎりぎり到着し親切に入れてもらう。地獄から極楽のような状況になる。しかしリーダーにはまだこの後事故渋滞の東北道を一人で運転という修行が待っていた。リーダーご苦労様でした。感謝です。どうもありがとう！

記録：澤田 淳子